



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月12日

上場会社名 大和自動車交通株式会社

上場取引所 東

コード番号 9082 URL <http://www.daiwaj.com/>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 新倉 能文

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 加藤 雄二郎

TEL 03-6757-7164

四半期報告書提出予定日 平成25年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	13,017	△0.4	718	△20.1	367	△44.7	△62	—
24年3月期第3四半期	13,070	△8.8	899	28.7	663	81.1	2,152	—

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 △64百万円 (△103.0%) 24年3月期第3四半期 2,110百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	△6.24	—
24年3月期第3四半期	215.82	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	15,841	3,657	22.8
24年3月期	15,973	3,757	23.2

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 3,607百万円 24年3月期 3,701百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	1.50	—	1.50	3.00
25年3月期	—	1.50	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	1.50	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,200	△1.4	900	20.5	530	12.0	△300	—	△30.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

業績予想の修正につきましては、本日(平成25年2月12日)公表いたしました「特別損失の計上及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期3Q	10,500,000 株	24年3月期	10,500,000 株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	529,953 株	24年3月期	529,205 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期3Q	9,970,712 株	24年3月期3Q	9,971,747 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等は、四半期決算短信(添付資料)2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、震災復興関連需要を背景とした緩やかな回復と経済政策の期待感から、株式市場において上昇傾向への変化の兆しが見受けられましたが、欧州の債務問題及び新興国の成長鈍化の影響等の懸念材料が依然として残っており、先行きについては不透明な中で推移しました。

ハイヤー・タクシー業界におきましても、景気停滞による法人及び個人の利用減少が続き、厳しい環境のもとにありました。このような情勢のもと、タクシー部門は業務提携契約を締結した中央無線タクシー協同組合加盟24社の車両の内、車体の塗り替えなど準備の整った車両（平成24年12月末日現在1,741台中1,737台）が、当社の商標（マーク等）を使用して、運行を順次開始しております。この提携により、お客様の利便性を向上し、提携各社との相互の発展を目指してまいります。

当第3四半期連結累計期間の売上高は13,017百万円と前年同四半期比0.4%の減収となり、経費面においては、賃貸不動産の増加や無線配車設備等の設備投資による固定資産減価償却費の増加があり、全部門における業務の効率化をはかりましたが、営業利益は718百万円（前年同四半期比20.1%減）となりました。第2四半期連結会計期間に計上しましたシンジケートローン手数料122百万円を営業外費用に計上し、経常利益は367百万円（前年同四半期比44.7%減）となり、平成24年7月30日に公表いたしました固定資産の譲渡に伴う関連損374百万円を特別損失に計上した結果、四半期純損失は62百万円（前年同四半期は四半期純利益2,152百万円）となりました。

セグメントの業績は、次の通りであります。

①旅客自動車運送事業

旅客自動車運送事業では、ハイヤー売上高は得意先企業の経費節減と他社との低価格競争の影響により、タクシー売上高は乗務員の営業指導を継続して実施し収益向上をはかりましたが、乗務員不足による稼働率の低下が続き、旅客自動車運送事業売上高は9,578百万円（前年同四半期比0.8%減）、営業利益は474百万円（前年同四半期比25.9%減）となりました。

②不動産事業

不動産事業では、平成23年12月に竣工しましたテラス府中（東京都府中市）や平成24年3月に購入しました飯田橋デルタビル（東京都文京区）による賃貸不動産の増加もありましたが、中央大和ビル（東京都中央区）のテナント転出により、不動産事業売上高は325百万円（前年同四半期比24.0%減）、営業損失は18百万円（前年同四半期は営業利益38百万円）となりました。

③販売事業

自動車燃料販売部門では、タクシー業界の減車等の影響を受け販売数量が減少する中で、人件費や諸経費の削減に努めるとともに、顧客へのきめ細かいサービスの提供を推進しております。金属製品製造販売部門は、生産効率向上効果とともに、ISO9001を継続取得し製品の品質向上を進めております。その結果、販売事業売上高は3,113百万円（前年同四半期比4.3%増）、営業利益は262百万円（前年同四半期比19.2%増）となりました。

（注）売上高に消費税等は含まれておりません。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間の総資産は15,841百万円となり、前連結会計年度末に比べ132百万円の減少となりました。これは有形固定資産が449百万円増加するなどの結果、固定資産が451百万円増加したものの、現金及び預金が644百万円減少するなどの結果、流動資産が583百万円減少したことによるものであります。

また負債は前連結会計年度末に比べ32百万円減少の12,184百万円となりました。これは長期借入金が4,871百万円増加するなどの結果、固定負債が5,215百万円増加したものの、短期借入金が4,699百万円減少するなどの結果、流動負債が5,248百万円減少したことによるものであります。

純資産は四半期純損失62百万円を計上した影響から、前連結会計年度末に比べ99百万円減少の3,657百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末の23.2%から22.8%に減少しております。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期通期の業績予想につきましては、平成24年5月15日に公表いたしました業績予想から修正しております。詳細につきましては、本日（平成25年2月12日）公表の「特別損失の計上及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

当第3四半期連結累計期間
(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,376	1,732
受取手形及び売掛金	1,426	1,444
有価証券	0	0
販売用不動産	3	3
商品及び製品	36	27
仕掛品	2	1
原材料及び貯蔵品	34	33
その他	382	434
貸倒引当金	△24	△22
流動資産合計	4,238	3,655
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,837	4,001
土地	6,213	6,169
建設仮勘定	118	3
その他(純額)	947	1,391
有形固定資産合計	11,116	11,565
無形固定資産		
その他	30	23
無形固定資産合計	30	23
投資その他の資産		
その他	703	713
貸倒引当金	△115	△115
投資その他の資産合計	587	597
固定資産合計	11,734	12,186
資産合計	15,973	15,841
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	791	769
短期借入金	5,804	1,105
未払法人税等	768	176
賞与引当金	79	32
その他	1,597	1,708
流動負債合計	9,041	3,793
固定負債		
社債	35	25
長期借入金	847	5,719
退職給付引当金	745	815
役員退職慰労引当金	165	92
資産除去債務	225	227
負ののれん	1	1
その他	1,154	1,509
固定負債合計	3,174	8,390
負債合計	12,216	12,184

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	525	525
資本剰余金	2	2
利益剰余金	3,428	3,336
自己株式	△264	△264
株主資本合計	3,691	3,599
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9	7
その他の包括利益累計額合計	9	7
少数株主持分	55	49
純資産合計	3,757	3,657
負債純資産合計	15,973	15,841

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	13,070	13,017
売上原価	11,295	11,458
売上総利益	1,775	1,559
販売費及び一般管理費	875	840
営業利益	899	718
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	7	8
負ののれん償却額	2	0
受取車検費用	11	6
その他	19	23
営業外収益合計	42	40
営業外費用		
支払利息	145	141
退職給付会計基準変更時差異の処理額	114	114
シンジケートローン手数料	5	122
その他	13	13
営業外費用合計	278	392
経常利益	663	367
特別利益		
固定資産売却益	2,621	0
負ののれん発生益	6	4
特別利益合計	2,628	5
特別損失		
固定資産除却損	54	10
減損損失	111	—
固定資産売却損	—	8
固定資産売却関連損	—	374
貸倒引当金繰入額	2	—
その他	4	—
特別損失合計	173	393
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	3,118	△21
法人税、住民税及び事業税	882	120
法人税等調整額	80	△78
法人税等合計	962	41
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	2,156	△62
少数株主利益又は少数株主損失(△)	4	△0
四半期純利益又は四半期純損失(△)	2,152	△62

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	2,156	△62
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△45	△1
その他の包括利益合計	△45	△1
四半期包括利益	2,110	△64
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,106	△63
少数株主に係る四半期包括利益	4	△0

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	旅客 自動車 運送事業	不動産 事業	販売事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	9,658	428	2,983	13,070	-	13,070
セグメント間の内部売上高 又は振替高	34	71	852	958	△958	-
計	9,693	499	3,835	14,029	△958	13,070
セグメント利益	640	38	219	898	0	899

(注)1 調整額の区分は、セグメント間の内部取引に係る消去額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	旅客 自動車 運送事業	不動産 事業	販売事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	9,578	325	3,113	13,017	-	13,017
セグメント間の内部売上高 又は振替高	22	100	817	940	△940	-
計	9,601	425	3,930	13,958	△940	13,017
セグメント利益又は損失 (△)	474	△18	262	718	0	718

(注) 1 調整額の区分は、セグメント間の内部取引に係る消去額であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

負ののれん発生益に重要性が乏しいため、記載を省略しております。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更に記載のとおり、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更したため、報告セグメントの減価償却の方法を改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。

これによるセグメント損益に与える影響は軽微であります。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。